

拠出金名：アセアン事務局拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				704,097千円	
国際機関等名	東南アジア諸国連合 (英文名称・略称) Association of Southeast Asian Nations (ASEAN)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	379,877	3,275		1米ドル = 116円	100
平成18年度	389,830	3,512		1米ドル = 111円	100
平成17年度	138,564	1,295		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	会議開催費、事務所運営費、研修実施及び専門家派遣費用等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2006年のもの)				国際機関等の財政 (2006年度決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入 3,685,336米ドル	
1位	日本	3,512	100.0	当該年度の支出 3,087,930米ドル	
2位				次年度への繰越 597,406米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				Ernst & Young(注2)	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
ASEANの枠組みの下で東南アジア諸国が域内協力を推進することは、アジアの安定及び繁栄のために極めて重要であり、我が国にとっても有益であった。ASEAN域内協力推進の調整・フォローアップは、ASEAN中央事務局が担当しているところ、我が国としても、同中央事務局を通じて、機構としてのASEANの結束及び安定の強化に対する協力を一層推進する必要がある。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
ASEAN内におけるASEAN中央事務局の責任機能強化の動きを我が国としても高く評価しつつ、「ASEAN+10」の実現により、ますますその重要性が増す同事務局の活動に対して、拠出金等を通じた協力・支援を行うことは、対ASEAN外交を進める上で非常に有益である。					

「邦人職員数うち幹部以上」以下の項目については「日ASEAN統合基金(JAIF)」(36ページ)参照

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 会計検査機関名はアセアン事務局全体の平成18年会計の検査機関である。

(参考) この機関には農林水産省の他、外務省および財務省予算から拠出している。